

「働く人々が手をつなぎ合って生きていく社会」の実現に向けて



昨年12月4日にNHKEテレ「先人たちの底力 知恵泉（ちえいず）」において「賀川豊彦」が取り上げられ、その生涯が解説を交えながら放映されました。私は、その放映を見ながら「ある人物」のことを思い浮かべました。

・・・

その人物の名前は、「江藤新一」と言います。ご存知でしょうか。

1914年（大正3年）に生まれ、1979年に65歳で亡くなりました。賀川豊彦が、1888年～1960年の72年間の生涯でしたから、かなりの部分で重なることとなります。

江藤新一は、旧中津中学校（現中津南高校）から明治大学に進学し、学生時代には、作家の山本有三（「路傍の石、愛川吾一）、里見弴に目をかけられ、卒業後、紆余曲折はありますが、最後には作家になりました。

この江藤新一、実は、私の母校「山移小学校」と言いますが、昨年3月25日に閉校式を行い、明治7年の創立以来144年間の歴史に幕を引きました。江藤新一は、この小学校を大正14年（1925年 今から94年前）に卒業しました。つまり、私の村の出身であり、母校の同窓生であり、大先輩ということでもあります。

私が生まれた当時、私の村（山移）から中津市に行くには、まずバスで柿坂まで行き、柿坂で耶馬溪鉄道（通称・耶鉄）に乗り換えて、中津駅に着くという行き方をしていました。

私が今でも鮮明に覚えているのは、私が小学校6年生の1月2日、中津市で開催された小学生の正月サッカー大会に出るために、みんなで耶馬溪鉄道の柿坂駅に集まって、改札を通過して駅のホームに出ようとするときに、改札の左側の柱に据え付けられている「小さな箱」がありました。



その「小さな箱」の名前は、「地の塩の箱」と言います。江藤新一が作った箱です。板を組み合わせ小鳥の巣箱のような箱で、箱にカギはなく、誰でも自由に開けることができました。

そして、その箱には「何かの事情で少額のお金にお困りの方は、自由にこの中のお金をお持ちください。」と書いてありました。

▲ 地の塩の箱 実物

江藤新一がこの「地の塩の箱」に込めた思いというのは、聖書にあるキリストの言葉を引用したものとされていますが、『塩』は物を腐らせず、人間が生きる上で欠くことのできない大切なものである。その役割を果たすため、自分は姿を消しつつ、人のために尽くし、それを誇ることをしない」という思いでした。

この「地の塩の箱」の第1号は、1956年（昭和31年）9月19日、千葉県庁に近い「羽衣橋」に取り付けられました。

一方でこの箱に対する周りの反応は、「そんなことで社会がよくなるなんて空想に過ぎない」「悪い人が盗んで役に立たない」「自分がよく思われようとしているだけ」などの痛烈な批判や揶揄などがあったのは当然ことではありました。

しかし、「何とかしてみんなが幸せになれるようにしたい」「取り残された人々に手を差し伸べたい」という新一と妻康子による「心のこもった」PR活動や呼びかけによって、徐々に賛同する人たちが集まってくることとなります。そして、「地の塩の箱連盟」が結成され、最盛期には全国で700以上の箱が取り付けられることとなりました。

賀川豊彦と江藤新一に共通することは何か、ということを考えてみると、最も共通しているのは、二人ともに「人の心」に深く染み入り、生きる希望を持てるようにしたいという思いが強いことにあります。

賀川は、自分の活動の基本は「心にある」と言いました。江藤もまた、「汲んでも汲んでも尽きることのない泉のような温かい心」を育てたいと言いました。2人ともに表現は違いますが、「助け合い、支え合い、お互い様という人間の本質」を根本においた活動であったと思います。

鉄鋼労連の委員長、金属労協の議長をした宮田義二さんは、「労働運動、あるいは福祉運動は、人と人との人間関係で生まれる『人間のにおい』『汗のにおい』のある現場で成り立っている。だから、その労働者への思いをはせる愛情が大切である。」と言い残しています。

今、身近なところから遠くまで見渡した時、様々な報道機関からの情報を耳にする時、「協調」ではなく「対立と圧力」をもとにした「自分さえよければよい」という事象が、顕在化しているように思えます。

私たちは、賀川の言う「活動の基本は心」、江藤が言う「汲んでも尽きることのない温かい心」、宮田さんの言う「労働者への愛情」。

これらの教えを十分に受け止めながら、「公助の役割発揮」と「共助機能の発揮」させていくとともに、「自分さえよければよい」という価値観から「助け合い、支え合い、お互い様」という人間が持つ本質的な価値観を回復させていく取り組みを進め、「働く人々が手をつなぎ合って生きていく社会」の実現に向けて進んでいきたいと思えます。

ともにがんばりましょう。

